

連合愛知新春交礼会



「働くことを軸とする安心社会」の
実現を目指して **謹賀新年**

新 春 交 礼 会



オープニングの津軽三味線

1月7日(火)に、グランコート名古屋にて新春交礼会を開催し、約600名の方にご出席いただきました。

津軽三味線の華やかなオープニングセレモニーから開演し、各界



藤田副会長による乾杯



来賓挨拶 大村愛知県知事

を代表する来賓の方々による5年ぶりの鏡開きも行いました。可知会長の新年のあいさつでは、昨年の振り返りと今期の取り組みとして、「2025春季生活闘争」「夏の参議院選挙」「11地協の地域に根差した顔の見える運動」の3点について述べられました。

(会長挨拶全文は2ページに掲載)

来賓を代表して大村知事のあいさつののち、藤田副会長の乾杯の音頭で歓談が始まりました。参加者同士の意見交換を通じて労働運動推進に対する心合わせが出来た新春交礼会となり、足立副会長のあいさつで閉会しました。



閉会挨拶 足立副会長



会場の様子

2025年新春のあいさつ



連合愛知 会長 可知洋二

対しましてご理解、ご協力を頂きました事にも重ねて感謝を申し上げます。そして本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年は、能登の震災や羽田の事故とした大変な事態からの幕開けで、その後も自然災害や重大事故が生じました。被災地・被災者の一刻も早い復旧・復興・回復と、今年こそ「おだやかな年」となる事を祈念したいと思います。

他方、世界的には戦争や紛争が続いており、そうした報道を見るにつけ心痛な思いになります。2025年は戦後80年の節目です。政府には世界唯一の被爆国である日本であるからその外交努力によって、平和を希求すべく努力頂きたいと思います。

連合愛知の今年のポイントとなる活動について、3点に触れさせていただきます。先ず1点目は、間近に迫った2025年春季生活闘争です。連合方針は5%以上、中小労組は6%以上です。ここ数年続く賃上げを定

日本労働組合総連合会愛知県連合会 会長 可知 洋二

明けましておめでとうございます。

本日は私ども連合愛知の新春交礼会に、厚労省愛知労働局の小林局長、愛知県の大村知事をはじめとするご来賓の皆様、そして多くの働く仲間の皆さんに、年初のご多忙の中ご参加頂き誠にありがとうございます。またご参会の皆様には、

旧年中、連合愛知の取り組みに

着し、その勢いを加速・拡大し、昨年以上の結果に拘って取り組んでいきます。

またここ数年の賃上げによる課題は大手の中小の格差拡大です。その是正に向けて道半ばである適正取引・価格転嫁の促進が必須であり、行政や経済界と連携しながら取り組みも進めて参ります。

続いて2点目は、第27回参議院選挙です。

昨年の衆議院選挙を経て、国会のあり様が大きく変化しました。それは熟議を経て政策や予算が決まる国会であり、あるべき姿であると思います。支援する立憲民主・国民民主としては、この通常国会が正念場になりますし、是非、両党には国民の期待に応えて頂くようご努力をお願い致します。こうしたことも含め、7月施行予定の参議院選挙の重要性は一層高まりました。連合としては、全国比例では組織内候補全員と、愛知選挙区では立憲民主の田島さんと国民民主から擁立予定の2名の候補者の必勝に向けて取り組んで参ります。

そして3点目は、地域に根差した顔の見える運動です。

この運動は、地域の活性化や課題解決に地協が取り組みます。計画は全11地協11通りありますが、数例挙げれば、①地域の子供の見守り活動や、②児童養護施設の子供たちの職業体験の提供、③部活動の地域移行に伴う支援を当該市と連携する事などです。全てが新たな取り組みであります。出来ることから進めて参ります。

その他、仲間づくりやジェンダー平等推進、更には社会貢献などの取り組みを進めることで、連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会」の実現を目指して参ります。

結びになりますが、迎えました2025年が、本日ご参会頂きました皆様とご家族や組織にとりまして、幸多き年になりますこと祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

日本労働組合総連合会 会長 芳野 友子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。日頃より連合運動へのご理解とご支援をいただき心より御礼申し上げます。

昨年は、元日に能登半島地震が発生し、多くの方々が困難な状況の中で新年を迎えることになりました。その後も一年を通して自然災害が各所で発生しました。特に、豪雨災害が地域を問わず発生する様子を見ると、地球温暖化の影響が顕著になっているのではないかと不安を覚える方も多いと思います。

今年は、地球温暖化について初めて科学的な国際会議として開かれた「フイラハ会議」から40年となります。近年、日本では四季を感じにくくなって来たようにも思え、将来にわたって持続可能な社会を維持することは待ったなしの課題です。一年の始まりに、改めて地球環境に思いを巡らせ、日々の生活の中で取り組めることに努力して参りましょう。

また、今年は戦後80年となります。先の大戦の惨禍を直接経験された方々は少なくなり、その実相を伝える役割は次の世代へと移っています。残念ながら世界のいたるところで武力を用いた争いが絶えません。対岸の火事と見過ごすのではなく、80年前の出来事を振り返り、私たちが果たすべき役割をいま一度見つめなおし、行動に結びつける一年にしましょう。

「未来づくり春闘」は今年で4回目となります。賃金も物価も上がらないという社会的規範（ノルム）が長い間、私たちの社会にこびりついてきましたが、近年の賃上げの成果により、「賃金は上がる」という新たなノルムが生まれつつあります。今年は、この流れを「巡航軌道」に乗せ、その新たなノルムを確固たるものにする重要な年となります。動き始めた賃金や物価



を再び停滞させることのないように2025年春季生活闘争に取り組んで参りましょう。

連合は2030年までにジェンダー平等社会を実現するとの決意のもと、「連合ジェンダー平等推進計画」を策定し取り組んでいます。世界では、すでに男女同数の割合、すなわち「50:50」が当然のように実現しています。「203050」の目標達成に向けて、残り5年しかないという危機感を持ち、力を尽くして参りましょう。

労働組合の組織率は、年々、低下しています。労働組合は時代遅れのものなのでしょうか。労働者が労働環境や処遇の改善を求める姿勢は、今も昔も大きく変わっていないように思います。求める内容が多様化し、より丁寧に個々の組合員と向き合わなければ、労働組合に加入している意味を見出しづらくなっているのではないのでしょうか。加えて、労働組合に加入していない方々に対して労働組合はどう接していくのかも問われ続けています。そのためにも、連合運動はその活動領域の幅を広げていくことが必要であると思います。多様な方々や団体と積極的に対話と連帯を進めて参りたいと思います。

そして、労働組合は、確実に社会を支え、進歩させてきました。今を担う私たちは、その価値を高める努力を惜しんではならないと思います。低下する組織率に歯止めをかけ、多くの仲間が集い、互いに協力しながら、より良い職場や社会をつくることに努力する一年にして参りましょう。

本年が皆さまにとって実り多い一年となりますことを祈念いたします。

働くことについて考える機会に

2024 連合愛知大学寄付講座を開講

連合愛知ではこれから社会に出る大学生を対象に「労働組合の役割や労働運動の意義を理解してもらう」、「ワークルールの知識を身につける」、「様々な仕事について知ってもらう」事を目的に2019年度より大学寄付講座を行っています。

6年目となる今年度は、学生・大学の要望や時代の変化を踏まえたテーマで、愛知県立大学にて全15回の講義を10月より開講しました。

寄付講座におけるテーマの一つである、「様々な仕事について知ってもらう」講義として最前線にて活躍されている各構成組織・加盟組合からご紹介をいただいた2名の講師にご登壇いただき、ご自身のお仕事や労働組合の紹介、学生へのアドバイスをさせていただきました。

寄付講座を通じ学生に対し、就労観の情勢やワークルールの知識、労働組合の存在意義と役割について理解を深めるよう進めています。

第9回講座(12/9)

公務労働職場の現状を知る(保育職)ー労働現場から学ぶ③ー

講師:自治労 岡崎市職員組合 副委員長 鈴木 明子 氏

保育士の一日の仕事内容や、大変な中でもやりがいを感じながら働いているといった現場の声を紹介。働く環境は自分たちで作る必要があるという意識で、労働組合として職場から出た意見を経営側へ要求して、園内清掃の外部委託や出欠管理にアプリ導入など改善例も紹介。

公務労働職場の現状を知る(教育職)ー労働現場から学ぶ④ー

講師:愛教組連合 専門局担当役員 女性部担当 藤田 理映子 氏

授業を受ける側である生徒ではなかなか知る機会のない、「学校の先生」(教員)の授業だけでなく、日々行っている授業以外の仕事内容や教員としての自身の経験から学んだことなど、大変な業務のなかでも生徒の成長にやりがいを感じることを紹介。また労働組合として、こどもたちが良い教育を受けられるような活動や、組合員の労働条件向上のためにしている各種運動の説明。



多数の相談が寄せられる

全国一斉集中労働相談ホットライン

12月10日(火)、11日(水)の二日間、「STOP!長時間労働あなたの職場は大丈夫?」をテーマに全国一斉集中労働相談ホットラインを実施しました。

連合愛知には期間中62件の相談があり、労働契約・労働時間関係や、賃金関係、差別等を中心に多くの相談が寄せられました。

連合ならびに連合愛知では、引き続き労働相談等を実施し、働く仲間をまもる取り組みを進めていきます。



電話を受ける様子

次の全国一斉集中労働相談ホットライン

実施日 2025年2月13日(木)、14日(金) 受付時間 10時~19時

いこうよ れんごうに
0120(154)052

アジア・アジパラ競技大会に向け立民・国民に支援要請を実施

両支援政党を通じた政府への働きかけを要請し、財的人的など様々な支援により大会を成功へ導く

愛知県より連合愛知に「2026年アジア・アジアパラ競技大会」開催に向け、立憲民主党と国民民主党を通じた政府への働きかけを求め要請があったため、12月15日(土)に両県連代表に可協会長および中島事務局長から要請をしました。

この競技大会は、昨今のインフレなどで大会経費の高騰が課題となっており、両支援政党を通じた政府への働きかけを要請し、財的人的など様々な支援により大会を成功へ導きます。



立憲民主党愛知県連への提出



国民民主党愛知県連への提出

第3回 執行委員会 2024年12月26日(木) 15:00~

議 事

- 1.連合愛知専従職員の採用について
- 2.「2025春季生活闘争 1万人総決起集会」の開催について(その1)
- 3.西尾市議会議員選挙に伴う候補者推薦について
- 4.岩倉市長選挙に伴う候補者推薦について
- 5.岐阜県知事選挙に伴う候補者推薦について

確認事項

- 1.2月「全国一斉集中労働相談ホットライン」実施について
- 2.社会福祉法人愛知県社会福祉協議会主催「令和6年度地域共生社会推進セミナー」の後援名義使用について
- 3.2025春季生活闘争の具体的な取り組み

- 4.2025春季生活闘争における調査・広報活動について
- 5.政策実現塾1期総括と2期の開講及び塾生の募集について

報告事項

- 1.連合本部関係
- 2.連合東海ブロック関係
- 3.連合愛知関係
- 4.地域協議会関係
- 5.行政及び友誼団体関係

その他

- 1.当面の日程について



連合愛知SNS登録のお願い

ホームページ

YouTubeチャンネル

Facebook

Instagram

「もしも」に備え「もしも」を防ぎ
 「もしも」に向き合う。



公式キャラクター
ビットくん

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済〈全労済〉
 全国労働者共済生活協同組合連合会 coop